



第3章

景観形成の基本理念と目標



第3章 景観形成の基本理念と目標

第二次千曲市総合計画に示されるまちづくりの基本目標の一つである「輝かしい歴史文化や美しい自然を未来に継ぐまち」を踏まえ、景観形成の基本理念を以下のとおり掲げます。

3-1 景観形成の基本理念

基本理念1. 良好な景観は未来の千曲市をつくる社会資本

冠着山・三峯山をはじめとする山なみや、幼い頃から慣れ親しんだ千曲川、特色ある田畑の風景、交通の要衝として産業が発展した宿場町や駅前市街地のまちなみ、豪壮な農家住宅による集落の景観は、今後ますます重要視される観光振興に加え、市民がまちに誇りや愛着を持ち、今後も住み続けたいと思えるまちづくりに寄与する、千曲市固有の社会資本です。

基本理念2. 千曲市の風景は、市民・来訪者にとっての“ふるさと”

周囲の山々や千曲川の豊かな恵みに抱かれて、四季折々に変化を見せる自然景観、周囲の山なみに溶け込むように展開する集落や駅前市街地の景観、歴史・文化を伝える宿場町や日本有数の棚田の景観は、市民だけでなく来訪者にとっても、どこかなつかしい“ふるさと”を感じさせる景観であるといえます。

基本理念3. ふるさとの景観を多様な参画で、長期的につくりあげる

縄文時代から人が住み続け、長い年月を経て形成・維持されてきた千曲市の景観を、市民共有の財産として、今後も次世代に引き継ぐことが、市民・事業者・行政の責務です。そのため、自然の保全、集落・まちなみの修景、公共施設の整備などを通し、市民生活の快適性・安全性にも配慮しながら“ふるさと”と呼べる景観をつくり上げていく必要があります。

良好な景観は一朝一夕に形成されるものではありません。時代の変化をふまえ、市民の意識の高揚と協力に基づき、市民主体、市民参加による長期的なふるさとづくりを進めます。

3-2 景観形成の目標

基本理念を踏まえ、これからの千曲市の景観形成の目標を以下のとおり設定します。

未来へ引き継ぐふるさとの景観まちづくり

目標 1. 雄大な自然景観を守り、未来に引き継ごう

地形からも民話・文学が生まれ、村人、旅人や商人など先人が眺めてきた自然景観を守り、未来に引き継ごう

目標 2. 日本の原風景やまちの発展を伝える歴史的・文化的景観を育て、未来に引き継ごう

人々が古くからそこに住まうことで培われた集落の風景や、駅前の商店街や宿場町などの、まちの発展を象徴する歴史的・文化的景観を守り、育て、活かしながら、未来に引き継ごう

目標 3. 新しい都市景観を創り、未来に引き継ごう

交通の要衝として発展し、産業振興を基盤として整備されてきた都市景観を、今後も、安心・安全かつ心地よく美しい都市景観となるよう創造し、未来に引き継ごう

目標 4. 景観まちづくりを未来に引き継ごう

現在に生きる私たちが景観の重要性を理解し、後世に引き継ぐために、景観まちづくり活動を実践し、未来に引き継ごう

